

2025年7月18日

各 位

サイエンスパーク事業戦略委員会委員長

産学共創拠点施設への入居者の公募について

現在、青葉山新キャンパスに整備予定の産学共創拠点施設の使用について、下記により公募いたしますので、入居をご希望の際は、別添の「産学共創拠点施設使用申請書」に係書類を添付のうえ、2025年10月31日（金）15時までに産学連携部特定事業戦略室宛にご提出くださいますようお願いいたします。

記

1. コンセプト

本学サイエンスパークの中心に位置する共創拠点として、地域中核企業との協力、本学に所在する大型研究施設との連携を含めた企業との共創、並びにスタートアップの支援を産学官金による連携体制を構築し展開することでイノベーションを推進し、新産業創出と活性化を促進することを目的とした研究棟です。

具体的には、学内外から公募により選定された研究プロジェクトを産学共創拠点施設内のラボ・オフィスを使用し、産学共創拠点施設内に留まらずサイエンスパークでの日常的な研究者や大学発スタートアップを含む国内外の企業間の交流等を契機として、研究機関等が結集した国際拠点としての発展を目指します。

2. 産学共創拠点施設の概要

場 所：青葉山新キャンパス地区

工 期：2028年3月末竣工予定（2028年4月供用開始予定）

延床面積：6,000 m²

構 造：RC造5階建（免震）

※建物の位置、面積等の詳細については、別紙1「産学共創拠点施設概要」参照

※工期については予定のため、社会情勢等によりに変更が生じる可能性があることをご理解のうえ、申請願います。

3. 公募対象スペース

施設の概要は別紙1よりご確認ください。**今回の公募については産学共創拠点施設5階のウェットラボ(1)～(11)(別紙1の2枚目)を対象**としておりますので申請者は使用申請書の「部屋希望等」の欄に必要事項を記載下さい。また、複数部屋の希望申請者は備考に部屋の間仕切りの変更希望有無にチェックし、要望等がある場合は必ず備考に記載下さい。

なお、レンタルラボの使用に当たっては、別紙2「東北大学産学共創拠点施設レンタルラボ等使用内規」及び今後制定予定の関連規則を遵守していただくことは基より、安全衛生に十分に配慮して使用いただくことになります。

※現在、設計中であるため建物概要、平面及び諸室機能の変更等が生じる場合があることをご了承願います。

※複数部屋希望かつ部屋の間仕切りを変更して入居された場合には原則として退去時に現状復旧の実施と費用負担頂きますのでご了承願います。

4. 審査

入居については、本学所定の委員会にて審査の上、決定しますのでご希望として記載した部屋以外となる場合もございます。

5. 使用料金

ラボ等の使用料金については、別紙2「東北大学産学共創拠点施設レンタルラボ等使用内規」をご確認下さい。

また、光熱水費等付帯料金は、別途実費負担となります。

本件連絡先

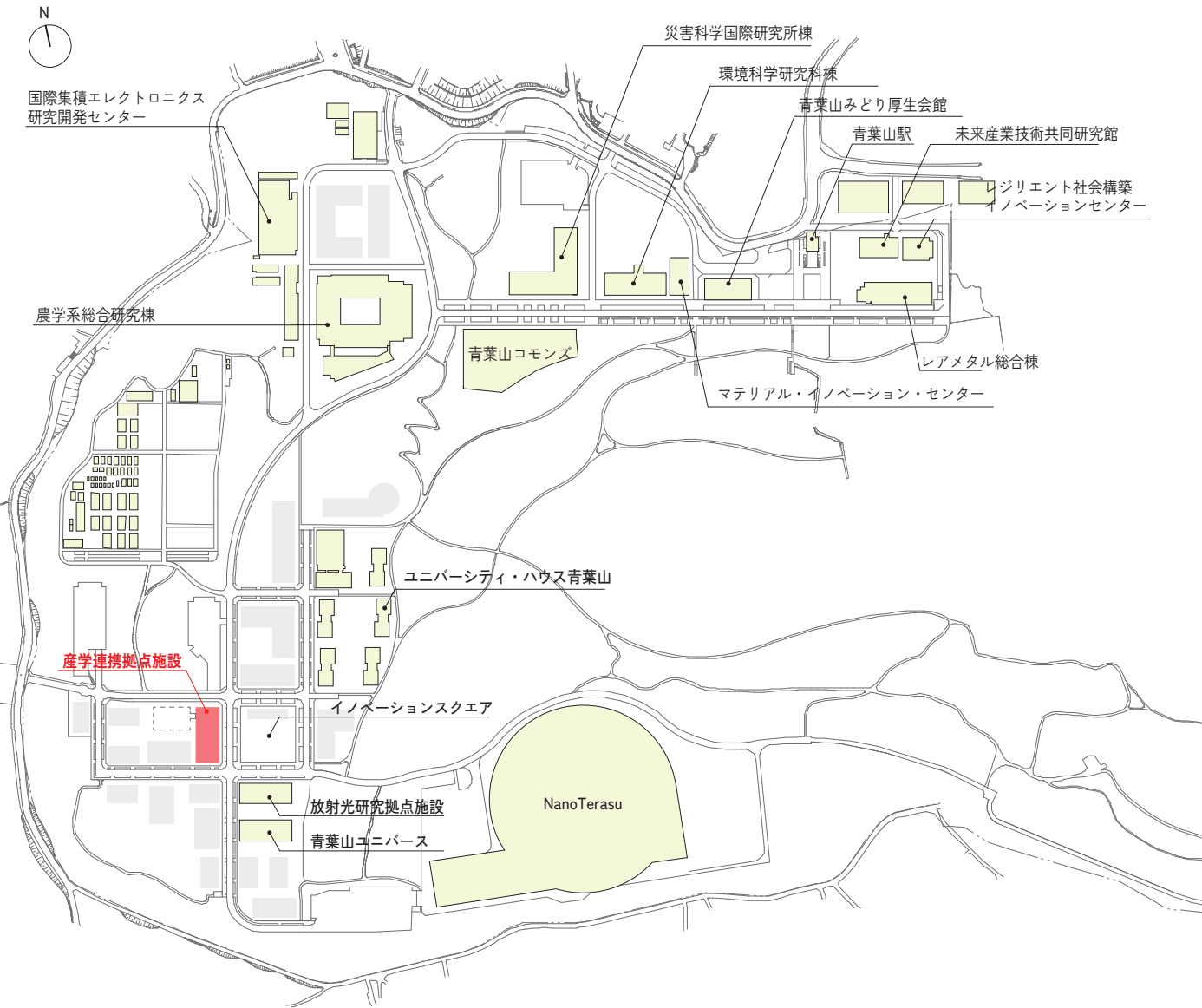
産学連携部特定事業戦略室（松谷）

TEL：022-217-6044

E-mail：kyoso-senryaku@grp.tohoku.ac.jp

産学連携拠点施設 概要資料

敷地案内



概要

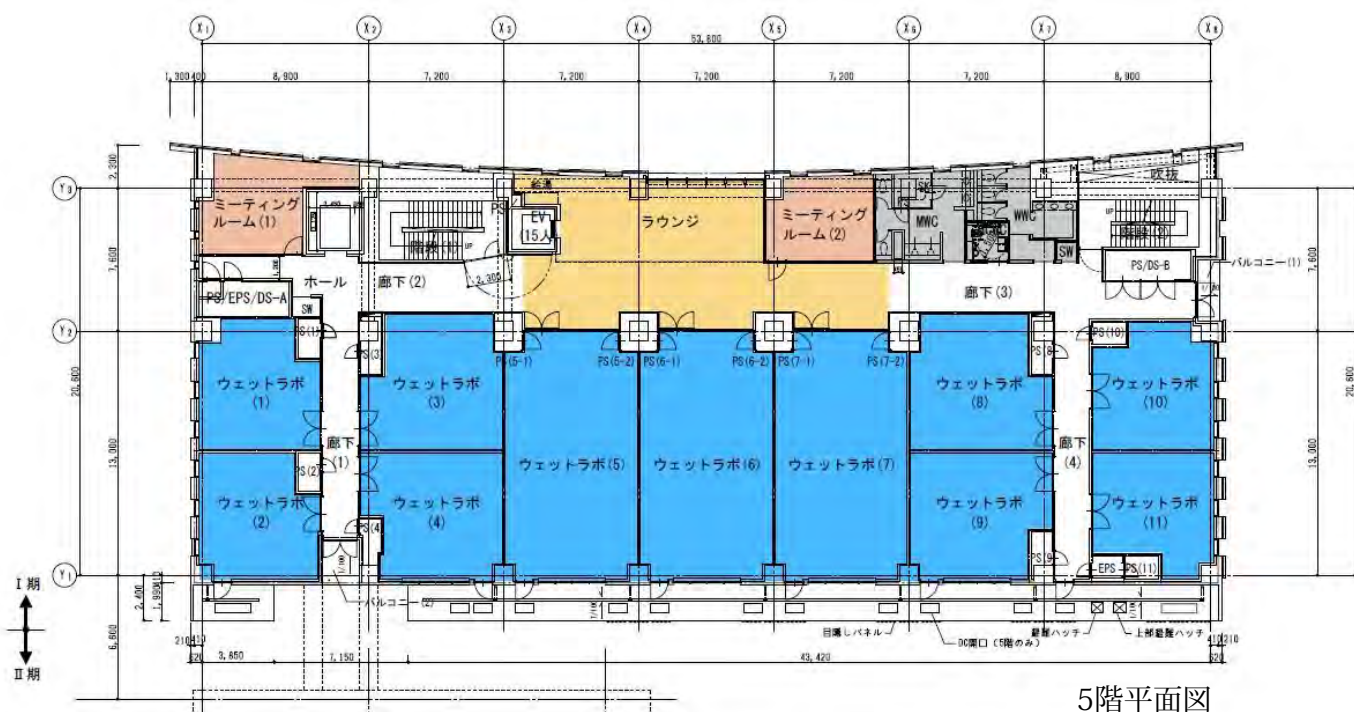
位置：宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1 の一部
：816 の一部（東北大学青葉山 3 団地構内）
面積：814,123.30 ㎡（青葉山 3 団地全体）
：646,935.60 ㎡（青葉山 3 団地の申請敷地面積）
用途地域：準工業地域
防火指定：準防火地域
高度地区：第 4 種
建蔽率：60%
容積率：200%
日影：高さ 10m 超 / 平均地盤面からの高さ 4.0m / 敷地境界線から 10m 以内 5h / 10m 超 3h
都市計画等
：地区計画 / 東北大学青葉山新キャンパス地区
：仙台市立地適正化計画 / 居住誘導区域仙台市
：仙台市「杜の都」景観計画 区域ゾーン区分 / 郊外住宅地ゾーン
：仙台市「杜の都」景観計画 景観重点区域 / 青葉山・大年寺山ゾーン（B 地区 30m 以下）
：仙台市屋外広告物条例 / 第二種許可地域 青葉山・大年寺山ゾーン
：広瀬川の清流を守る条例 / 水質保全区域
：下水道処理区域 / 分流式処理区域
：宅地造成等規制法 / 宅地造成工事規制区域

【建物概要】

用途：学校
階数：5 階
高さ：24.54m
建築面積：1,253.65 ㎡
延べ床面積：6,214.39 ㎡
構造：RC 造（免震）

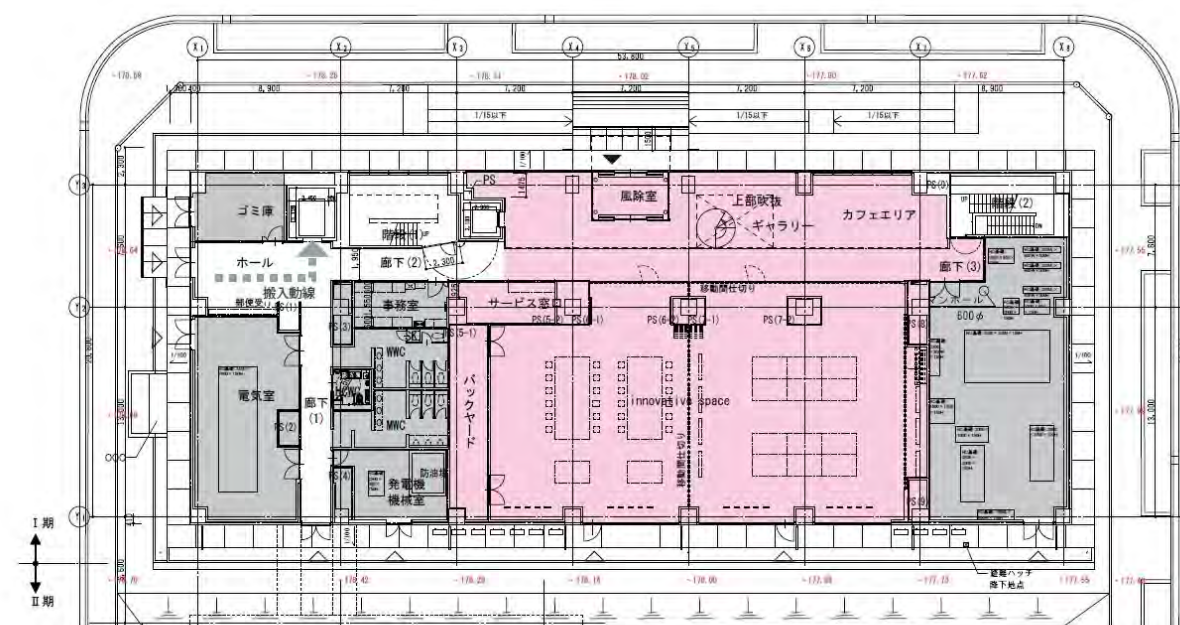
【各階延べ床面積】

1F：1,191.26 ㎡
2F：1,236.22 ㎡
3F：1,258.82 ㎡
4F：1,258.82 ㎡
5F：1,258.82 ㎡
RF：10.45 ㎡
計：6,214.39 ㎡

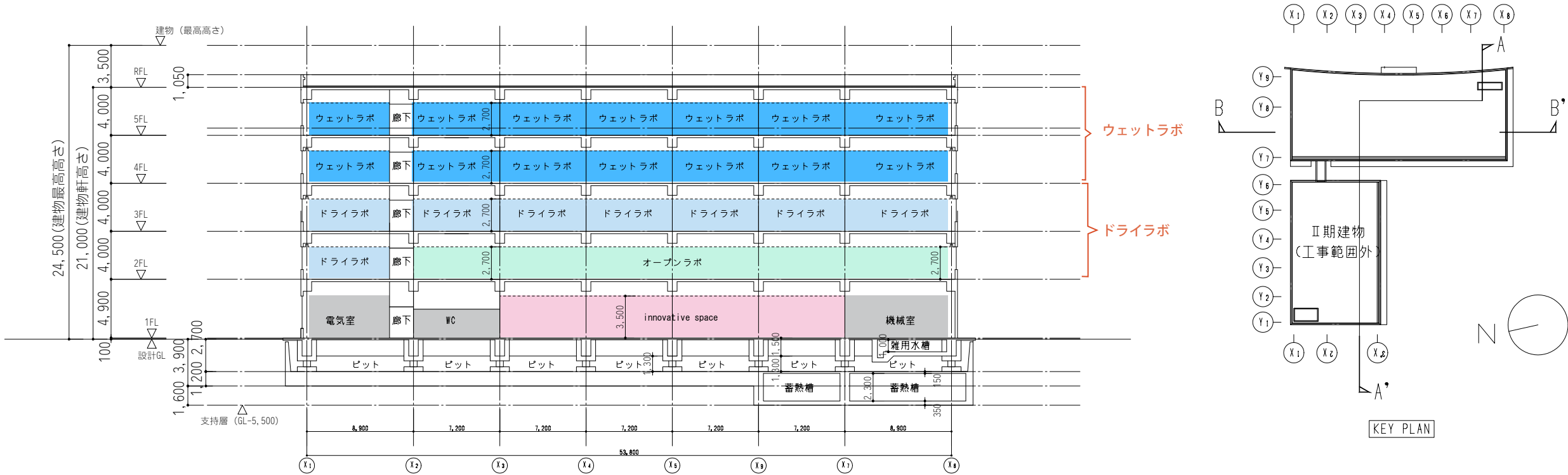


公募対象：5階ウェットラボ(1)～(11)

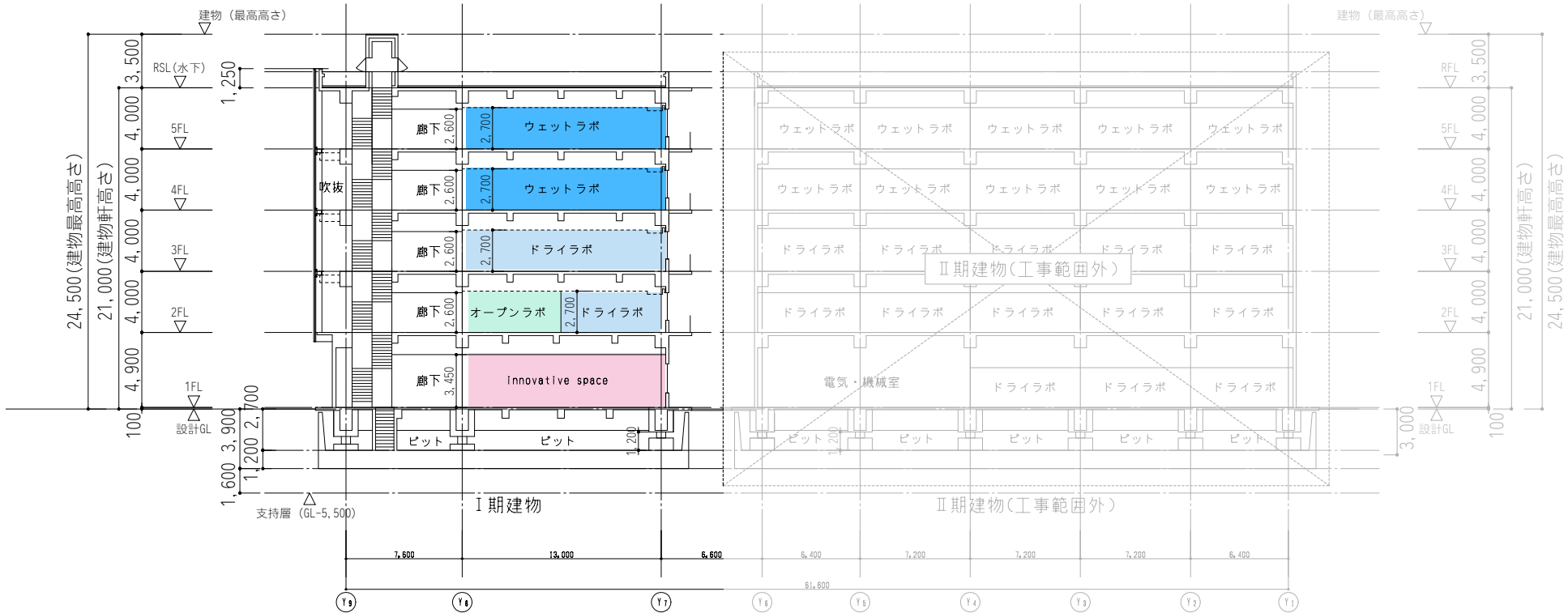
ウェットラボ(1)44.87㎡ (2)44.85㎡ (3)58.89㎡ (4)50.45㎡
 (5)～(7)88.92㎡ (8)58.68㎡ (9)51.45㎡ (10)44.77㎡
 (11)44.85㎡



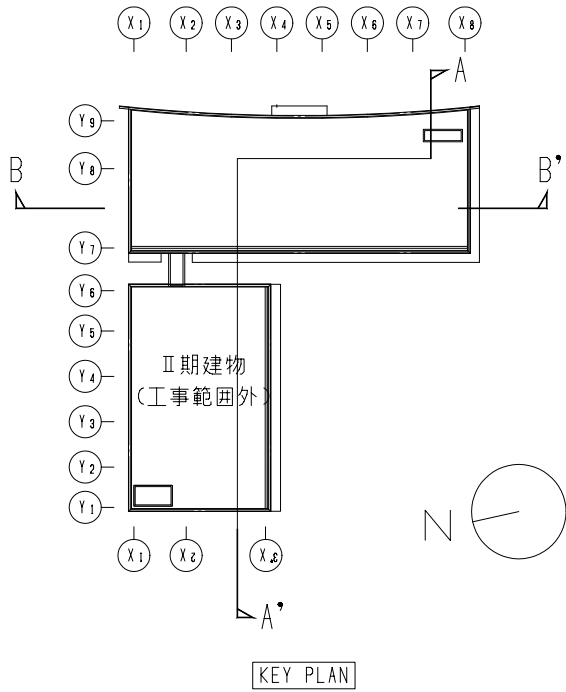
断面図 S=1:400



B-B' 断面図



A-A' 断面図



		ウェットラボ			ドライラボ			オープンラボ	ミーティングルーム	
		※：給排水設備や排気設備を使用した実験等を想定			※：コンピューターを利用した研究、解析等を想定					
		①-1:40～55㎡程度	①-2:55～65㎡程度	①-3:85～90㎡程度	②-1:40～55㎡程度	②-2:55～65㎡程度	②-3:85～90㎡程度	③:約330㎡	④-1:20～30㎡	④-2:約30～40㎡
間取り図		別図参照			別図参照			別図参照	別図参照	
室数		12	4	6	13	3	3	1	4	3
各部仕上	床	ビニル床シート(耐薬)			ビニル床シート			タイルカーペット	タイルカーペット	
	巾木	ビニル巾木			ビニル巾木			ビニル巾木	ビニル巾木	
	壁	塗装仕上(EP)			塗装仕上(EP)			塗装仕上(EP)	塗装仕上(EP)	
	天井	直天井(コンクリート表し) 階高:4,000、ケーブルラック高さ:2,700			直天井(コンクリート表し) 階高:4,000、ケーブルラック高さ: 2,700			化粧石こうボード 天井高さ:2,700	化粧石こうボード 天井高さ:2,700	
	床耐荷重	500kg/㎡(一般実験室仕様)			500kg/㎡(一般実験室仕様)			500kg/㎡(一般実験室仕様)	400kg/㎡(一般事務室仕様)	
窓		仕様:アルミサッシ ガラス:高断熱複層ガラス			仕様:アルミサッシ ガラス:高断熱複層ガラス			仕様:アルミサッシ ガラス:高断熱複層ガラス	仕様:アルミサッシ ガラス:高断熱複層ガラス	

電気	電源種別	交流 50Hz 単相200/100V 三相200V		交流 50Hz 単相200/100V	交流 50Hz 単相200/100V	交流 50Hz 単相200/100V
	計量	あり(照明・空調等含む)		あり(照明・空調等含む)	あり(照明・空調等含む)	あり(照明・空調等含む)
	インターネット環境	LAN配線の規格はCat6A		LAN配線の規格はCat6A	LAN配線の規格はCat6A	LAN配線の規格はCat6A
	電話設備	情報設備と共用		情報設備と共用	情報設備と共用	情報設備と共用
	情報設備	①-1:2口×1箇所 ①-1:2口×1箇所 ①-3:2口×2箇所 (約50㎡ごとに1箇所程度)		②-1:2口×1箇所 ②-1:2口×1箇所 ②-3:2口×2箇所 (約50㎡ごとに1箇所程度)	2口×7箇所	2口×1箇所
	ケーブルラック	あり		あり	なし	なし
機械設備	空調設備	空冷ヒートポンプパッケージエアコン(EHP) 室内機:天井カセット形1台	空冷ヒートポンプパッケージエアコン(EHP) 室内機:天井カセット形2台	空冷ヒートポンプパッケージエアコン(EHP) 室内機:天井カセット形1台	空冷ヒートポンプパッケージエアコン(EHP) 室内機:天井カセット形2台	空冷ヒートポンプパッケージエアコン(EHP) 室内機:天井カセット形
	換気設備	外調機(変風量装置による給気) 排気ファン		外調機(変風量装置による給気) 排気ファン	外調機(変風量装置による給気) 排気ファン	外調機(変風量装置による給気) 排気ファン
	DC用排気ダクト	なし(入居者工事)	なし(入居者工事)	なし	なし	なし
	給水設備	天井:バルブ止め(25A)×1箇所 PS内に計量メーター有		天井:バルブ止め(25A)×1箇所 (ドライラボのみ) PS内に計量メーター有	なし	なし
	排水設備	床:リザーブドレン(50A)×4箇所	床:リザーブドレン(50A)×6箇所	なし	なし	なし
	都市ガス設備(13A)	天井:バルブ止め(25A)×1箇所 PS内に計量メーター有		なし	なし	なし
	特殊ガス集中配管	なし		なし	なし	なし

- 共通事項
- ・OA707、暗室仕様、ドラフトチャンバー、ダクト工事などは入居者による対応を想定

・退去時は原状復旧

		ラウンジ	innovative space	ギャラリー/カフェエリア	サービス窓口
間取り図		別図参照	別図参照	別図参照	別図参照
室数		4	1	1	1
各部仕上	床	ビニル床シート	ビニル床シート	ビニル床シート	ビニル床シート
	巾木	ビニル巾木	SUS巾木	SUS巾木	ビニル巾木
	壁	塗装仕上(EP)	塗装仕上げ(EP)	塗装仕上(EP)	塗装仕上(EP)
	天井	化粧石こうボード 天井高さ:2,600	野縁材ルーバー+岩綿吸音板 天井高さ:3,450	岩綿吸音板天 井高さ:3,450	化粧石こうボード 天井高さ:2,700
	床耐荷重	350kg/㎡	350kg/㎡	350kg/㎡	350kg/㎡
窓		仕様:アルミサッシ ガラス:高断熱複層ガラス	仕様:アルミサッシ ガラス:高断熱複層ガラス	仕様:アルミサッシ ガラス:高断熱複層ガラス	仕様:アルミサッシ ガラス:一般ガラス
電気	電源種別	交流 50Hz 単相200/100V	交流 50Hz単 相200/100V	交流 50Hz 単相200/100V	交流 50Hz 単相200/100V
	計量	なし	なし	なし	なし
	インターネット環境	LAN配線の規格はCat6A	LAN配線の規格はCat6A	LAN配線の規格はCat6A	LAN配線の規格はCat6A
	電話設備	なし	なし	なし	2口×1箇所
	情報設備	アクセスポイントにて対応	アクセスポイントにて対応	アクセスポイントにて対応	2口×1箇所
	ケーブルラック	なし	なし	なし	なし
機械設備	空調設備	空冷ヒートポンプパッケージエアコン(EHP) 室内機:天井カセット形1台	空冷ヒートポンプパッケージエアコン(EHP) 室内機:天井カセット形4台	空冷ヒートポンプパッケージエアコン(EHP) 室内機:天井カセット形4台	空冷ヒートポンプパッケージエアコン(EHP) 室内機:天井カセット形1台
	換気設備	外調機(変風量装置による給気) 排気ファン	外調機(変風量装置による給気) 排気ファン	外調機(変風量装置による給気) 排気ファン	外調機(変風量装置による給気) 排気ファン
	DC用排気ダクト	なし	なし	なし	なし
	給水設備	あり(給湯コーナー)	なし	なし	なし
	排水設備	あり(給湯コーナー)	なし	なし	なし
	都市ガス設備(13A)	なし	なし	なし	なし
	特殊ガス集中配管	なし	なし	なし	なし

※給湯コーナーあり

東北大学産学共創拠点施設レンタルラボ等使用内規

2025年7月18日

サイエンスパーク事業戦略委員会委員長裁定

(趣旨)

第1条 この内規は、東北大学産学共創拠点施設（以下「産学共創拠点施設」という。）レンタルラボ及びレンタルオフィス（以下「レンタルラボ等」という。）の使用について定めるものとする。

(レンタルラボ等の使用)

第2条 サイエンスパーク事業戦略委員会委員長（以下「委員長」という。）は、次の各号のいずれかに該当する場合には、レンタルラボ等を期間を定めて使用させるものとする。

- 一 東北大学（以下「本学」という。）の教員等が行う研究で、イノベーションの創出又は地域中核企業の成長・拡大を推進することで共創活動の展開に寄与するものに使用する場合
- 二 本学又は本学の教員等が関係するスタートアップ等が第1号に掲げる研究（研究開発を含む。）に使用する場合
- 三 本学と共同研究等を行う相手方が第1号に掲げる研究（研究開発を含む。）に使用する場合
- 四 前三号に掲げるもののほか、学術研究の発展に寄与と認められる場合に委員長が特に適当と認めるものに使用する場合

(使用の期間)

第3条 レンタルラボ等は、原則として、1年を単位として使用させるものとする。ただし、第5条第1項に定める審査において委員長が適当と認めるときは、1年未満の期間により使用させることがある。

- 2 前項に定める使用の期間は、最長で5年間とする。ただし、委員長が特に適当と認めるときは、所定の審査を経て更新することがある。

(使用の申請)

第4条 レンタルラボ等を使用しようとする者は、所定の期日までに別記様式第1号又は第2号により委員長に提出しなければならない。

(使用の許可)

第5条 委員長は、前条の申請があったときは、東北大学サイエンスパーク事業戦略委員会（以下「委員会」という。）に、その使用目的等を審査させるものとする。

- 2 委員長は、前項の審査の結果、適当と認めるものについては必要な条件を付して使用を許可するものとする。
- 3 委員長は、前項の規定により使用を許可したときは、別記様式第3号により申請者に通知するものとする。
- 4 前項に定めるもののほか、第2条第2号から第4号（本学の教員等が使用する場合を除く。）の

規定により使用を許可された者は、国立大学法人東北大学不動産等貸付事務取扱細則（平成17年12月27日理事（財務担当）裁定）による建物等使用申込書を東北大学総長に提出し、レンタルラボ等の貸付けに係る契約を締結するものとする。

（使用料）

第6条 使用料は、建物及びその付帯施設等に係る基本料金並びに光熱水料等の実費弁償的な付帯料金とする。

2 基本料金は以下の通り定めるものとする。

使用の区分	料金
学内者	年額 33,000 円／㎡（月額 2,750 円／㎡）
学外者（中小企業、スタートアップ）	年額 47,600 円／㎡（月額 3,960 円／㎡）
学外者（中小企業、スタートアップ以外）	年額 59,400 円／㎡（月額 4,950 円／㎡）

3 第3条第1項ただし書きに定める期間により使用させる場合にあっては、当該使用の期間に応じ、上記に定める金額を減額して徴収するものとする。

（使用料の納付）

第7条 使用を許可された者（以下「使用者」という。）は、前条に規定する使用料を所定の期日までに納付しなければならない。

2 既に納付した使用料は、返付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、その一部又は全部を返付することがある。

- 一 災害その他使用者の責めによらない事由で使用できなくなったとき。
- 二 第11条第1項の規定により使用の許可を取り消し、又は使用を中止させたとき。
- 三 第12条の規定により使用の期間の変更又は取りやめの承認を受けたとき。

（使用料の特例）

第8条 委員長が特に必要と認めた場合は、使用料の一部又は全部を徴収しないことがある。

（原状変更等）

第9条 使用者は、レンタルラボ等に特別の工作をし、又は原状を変更してはならない。ただし、委員長の承認を得た場合は、この限りでない。

（使用の権利の譲渡等の禁止）

第10条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は第三者に使用させてはならない。ただし、委員長の承認を得た場合は、この限りでない。

（使用の許可の取消し等）

第11条 委員長は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用の許可を取り消し、又は使用を中止させることがある。

- 一 本学において使用する必要が生じたとき。

二 使用者がこの内規又は使用の許可条件に違反したとき。

2 前項により使用の許可を取り消し、又は使用を中止させたことによって使用者に損害を及ぼす場合であっても、本学はその責めを負わない。

(使用の期間の変更等)

第12条 使用者は、使用の期間を変更し、又は使用を取りやめる場合は、30日前まで委員長に申し出て、その承認を受けなければならない。

(原状回復)

第13条 使用者は、レンタルラボ等の使用を終えたとき、又は第11条第1項の規定により使用の許可を取り消され、若しくは使用を中止させられたときは、直ちに原状に回復し、返還しなければならない。

(損害賠償)

第14条 使用者は、レンタルラボ等及びその設備、備品等を破損し、若しくは滅失した場合又は使用の許可条件に定める義務を履行しない場合は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

(事務等)

第15条 産学共創拠点施設の管理運営及びレンタルラボ等の使用に関する事務は、財務部、施設部及び産学連携部が連携して行う。

(雑則)

第16条 この内規に定めるもののほか、レンタルラボ等の使用に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、2025年7月18日から施行する。

東北大学産学共創拠点施設使用申請書

No.			
年 月 日 サイエンスパーク事業戦略委員会委員長 殿			
申請者（代表者） 所属部局：_____			
職名：_____ 氏名：_____			
電話：_____ FAX：_____			
E-mail：_____			
産学共創拠点施設の使用について、次のとおり申請します。			
プロジェクト名称			
資金の名称等	資金①		
	事業名称：		
	種別（○印）：共創研究所・共同研究・受託研究・補助金・その他（寄附金、大学運営資金等）		
	予算総額： 円		
資金の名称等	資金②		
	事業名称：		
	種別（○印）：共創研究所・共同研究・受託研究・補助金・その他（寄附金、大学運営資金等）		
	予算総額： 円		
組 織	所 属 ・ 職 名		氏 名
	学 内 者		
	相 手 機 関		
使 用 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日 ※最長5年		
部屋希望等	部屋数	□1部屋 □複数（部屋数を記載 例）2部屋）	
	部屋番号	※特に希望する部屋がある場合は記載下さい	
	備考	間仕切り変更 □有 □無 ※複数部屋を希望する場合は上記をチェック ※その他必要な要望等を記載下さい	
使用予定機器等名	① 学内持ち込み機器		

*担当者記入欄

No. m²

	② 企業等持ち込み機器	③ その他
1. 研究概要		
2. 入居期間内における 本学の成果への寄与		
	(入居後何年までに、何をどこまで行うのかを明記して下さい。)	
3. 産学官共同研究推進 への寄与		
4. 施設改修計画	(研究開発を行う上で、改修が必要な場合は記載して下さい。例：研究室内へのトイレの設置)	
備 考		

注) 研究プロジェクトの概要がわかるパワーポイント資料1枚を添付してください。

東北大学産学共創拠点施設使用申請書

No.			
年 月 日 サイエンスパーク事業戦略委員会委員長 殿			
申請者（代表者） 企業名等：_____			
職名：_____ 氏名：_____			
電話：_____ FAX：_____			
E-mail：_____			
産学共創拠点施設の使用について、次のとおり申請します。 なお、使用に当たっては関連規則を遵守します。			
プロジェクト名称			
資金の名称等	<u>資金①</u> ☐ 自社の自己資金より充当 ☐ その他（ ） 予算総額：_____ 円		
	<u>資金②</u> ☐ 自社の自己資金より充当 ☐ その他（ ） 予算総額：_____ 円		
組 織	所 属 ・ 職 名	氏 名	連絡先（電話）
	申請機関		
	本学関係者		
使用期間	年 月 日 ～ 年 月 日 ※最長5年		
部屋希望等	部屋数	☐ 1部屋 ☐ 複数（部屋数を記載 例）2部屋	*担当者記入欄 No. _____ m ²
	部屋番号	※特に希望する部屋がある場合は記載下さい	
	備考	間仕切り変更 ☐ 有 ☐ 無 ※複数部屋を希望する場合は上記をチェック ※その他必要な要望等を記載下さい	
使用予定機器等名	① 申請機関（企業等）持ち込み機器		
	② 本学（関係者等）持ち込み機器	③ その他	

1. 研究概要	
2. 入居期間内における 本学の成果への寄与	(入居後何年までに、何をどこまで行うのかを明記して下さい。)
3. 産学官共同研究推進 への寄与	
4. 施設改修計画	(研究開発を行う上で、改修が必要な場合は記載して下さい。例：研究室内へのトイレの設置)
備 考	

注) 研究プロジェクトの概要がわかるパワーポイント資料1枚を添付してください。

別記様式第3号（第5条第3項関係）

東北大学産学共創拠点施設使用許可書

年 月 日

殿

サイエンスパーク事業戦略委員会委員長

東北大学産学共創拠点施設のレンタルラボ等の使用を下記のとおり許可する。

記

プロジェクトの研究代表者	
使用許可期間	年 月 日 ～ 年 月 日
使用許可実験室等	室 m ² 使用料 年額 千円(光熱水料等付帯料金は別途)
使用条件	東北大学産学共創拠点施設レンタルラボ等使用内規及び本学との不動産貸付契約等を遵守すること(原状回復を含む。)。 本施設使用許可書通知後に、プロジェクト申請者の責に帰する事由により使用開始前に使用を辞退する場合、既に産学共創拠点施設当初仕様に変更が生じている場合は現状回復の責を負うこと。 社会情勢、自然災害等により東北大学産学共創拠点施設の工期に変更が生じた場合は使用許可期間等についても変更されることがあることを了解すること。